株式会社ポピンズ

2025年12月期 第2四半期 決算説明会資料

証券コード：7358
2025年8月8日

AGENDA

ミッション、SDGsへの取組み p.03

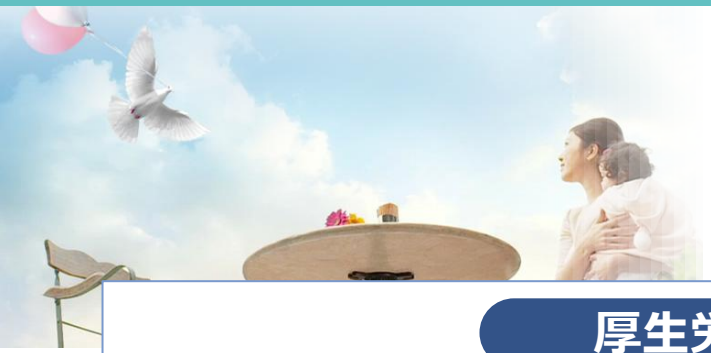
2025年12月期 上半期 決算ハイライト p.04

2025年12月期 第2四半期 セグメント別業績推移 p.11

APPENDIX p.22

企業情報（事業概要、政策動向・市場環境）は、IRサイト（https://www.poppins.co.jp/hldgs/ir/）よりご覧ください。

ポピンズのミッション ～働く女性の支援～



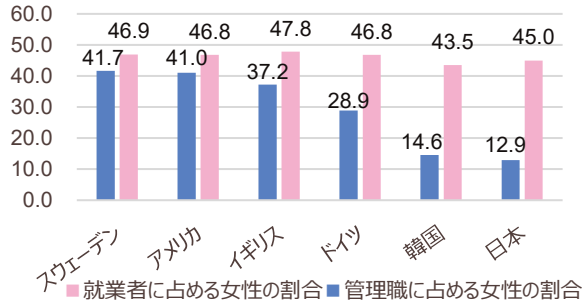
働く女性を 最高水準のエデュケアと 介護サービスで支援します。

厚生労働省が示した「女性活躍」に関する方針

- 101人以上の企業に女性管理職比率の公表義務化
- 101人以上の企業に男女の賃金格差の公表義務化
- 女性の健康課題への取組を行動計画に盛り込む

管理職比率

他国同等の女性就業率に対し、
約13%で最低水準



ジェンダー・ギャップ 日本１１８位（世界１４８ヵ国中） *2

賃金格差

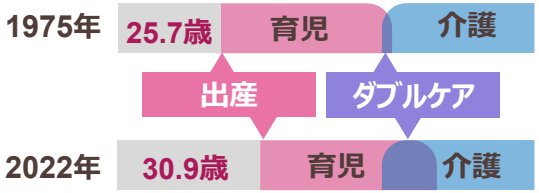
日本の男女賃金格差
21.3%

出産後正社員に戻れない
L字カーブが課題

女性の働き控えがなくなれば
経済効果が 8.7 兆円*3

ダブルケア

第一子出産年齢*1



2025年4月から改正
育児・介護休業法*
育児や介護と仕事の両立を推進

出所 *1: 日本経済新聞掲載（人口動態統計を基に作成）*2:世界経済フォーラム *3: 野村総合研究所

* 詳細は、APPENDIX P.28参照。

2025年12月期
上半期
決算ハイライト

上半期サマリー

売上高

172億円

(yoy +9.5%)

営業利益

9.3億円

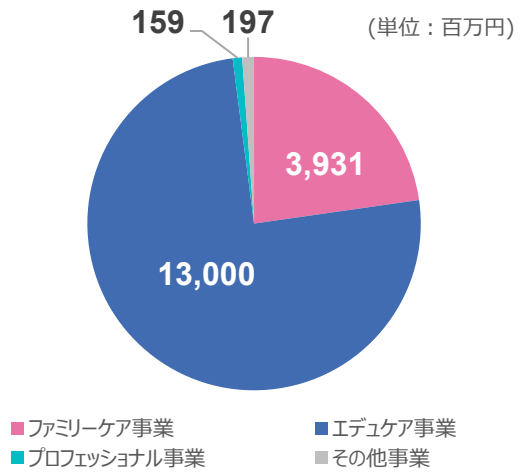
(yoy +32.1%)

純利益

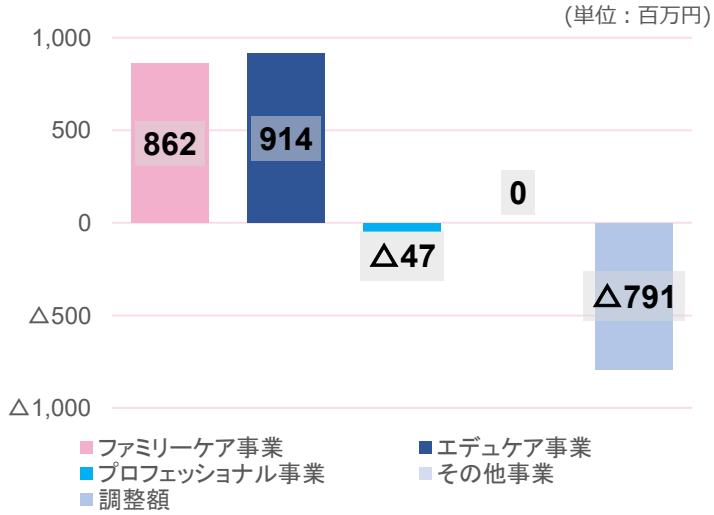
6.0億円

(yoy +29.9%)

売上高（セグメント別）



営業利益（セグメント別）



売上高　調整額：△76

連結業績　上期累計：増収増益

売上高　　：堅調に推移　令和６年度人事院勧告に伴う公定価格改定の影響891百万円*
売上総利益　：高利益率のファミリーケア事業の売上高構成比が上昇
　　エデュケア事業でも、収益性が改善
販管費　　：＋）ナニー・シルバーケアのコンシェルジュ等や、各事業およびグループ管理・企画体制の強化
　　事業成長に伴う準変動費**

（単位：百万円）

	2024年12月期 上期		2025年12月期 上期		前期比	
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	15,723	100.0	17,212	100.0	1,488	+9.5
売上原価	12,519	79.6	13,511	78.5	991	+7.9
売上総利益	3,204	20.4	3,700	21.5	496	+15.5
販売一般管理費	2,493	15.9	2,761	16.0	268	+10.8
営業利益	710	4.5	938	5.5	227	+32.1
経常利益	743	4.7	918	5.3	174	+23.5
親会社株主に帰属する当期純利益	466	3.0	606	3.5	139	+29.9

* 特殊要因：公定価格改定による収入増（上期累計）は891百万円。
** 主に、ベビーシッターサービスに係る決済・システム関連費用、ならびに、控除対象外消費税等（エデュケア事業に関わるものを含む）など

セグメント別業績　上期累計

- ファミリーケア　　：増収増益　売上・利益ともに20%超の成長
- エデュケア　　：増収増益*
- プロフェッショナル　：増収増益　受注進捗も順調（前期受注に至らなかった大型案件の再獲得を含む）

（単位：百万円）

	セグメントの名称	2024年12月期 上期		2025年12月期 上期		前期比	
		実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	ファミリーケア事業	3,261	20.7	**3,931**	22.7	669	**+20.5**
	エデュケア事業	12,164	77.1	**13,000**	75.3	836	**+6.9**
	プロフェッショナル事業	114	0.7	**159**	0.9	44	**+38.6**
	その他事業	234	1.5	**197**	1.1	△37	**△16.0**
	調整額	△52	-	**△76**	-	△24	**-**
	合計	15,723	-	**17,212**	-	1,488	**+9.5**
営業利益	ファミリーケア事業	686	47.7	**862**	49.8	175	**+25.6**
	エデュケア事業	838	58.1	**914**	52.9	75	**+9.0**
	プロフェッショナル事業	△76	△5.3	**△47**	△2.7	29	**-**
	その他事業	△7	△0.5	**0**	0.0	8	**-**
	調整額	△730	-	**△791**	-	△61	**-**
	合計	710	-	**938**	-	227	**+32.1**

* 公定価格改定による収入増（上期累計）891百万円に対して、事業利益を財源とする人的資本への投資（独自改善分）を含めて処遇改善988百万円を2Qに実施いたしました。

連結業績　2Q単体

売上高　　：堅調に推移　　令和６年度人事院勧告に伴う公定価格改定の影響582百万円*
売上総利益　：高利益率のファミリーケア事業の売上高構成比が上昇
　　エデュケア事業の特殊要因（公定価格改定1Q影響308百万円**の精算等）を含む
販管費　　：＋）ナニー・シルバーケアのコンシェルジュ等や、各事業およびグループ管理・企画体制の強化
　　事業成長に伴う準変動費***

（単位：百万円）

	2024年第2四半期		2025年第2四半期		前年同期比	
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	7,863	100.0	8,606	100.0	743	+9.5
売上原価	6,392	81.3	7,258	84.3	865	+13.5
売上総利益	1,470	18.7	1,347	15.7	△122	△8.4
販売一般管理費	1,201	15.3	1,397	16.2	195	+16.3
営業利益	268	3.4	△ 49	△ 0.6	△318	-
経常利益	307	3.9	△ 57	△ 0.7	△365	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	2.5	△ 26	△ 0.3	△224	-

* 特殊要因：公定価格改定による収入増（2Q単体）は582百万円
** 公定価格改定1Q影響：公定価格改定による1Q収入増308百万円と、処遇改善の期ずれにより生じたプラス影響額
*** 主に、ベビーシッターサービスに係る決済・システム関連費用、ならびに、控除対象外消費税等（エデュケア事業に関わるものを含む）など

セグメント別業績　2Q単体

- ファミリーケア　　：売上・利益ともに高い成長率
- エデュケア　　：減益は特殊要因（公定価格改定1Q影響308百万円*の精算、独自改善分97百万円**）
- プロフェッショナル　：堅調に推移（前年同期比並み）

（単位：百万円）

	セグメントの名称	2024年第2四半期		2025年第2四半期		前年同期比	
		実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	ファミリーケア事業	1,609	20.4	**1,927**	22.3	317	**+19.8**
	エデュケア事業	6,128	77.6	**6,596**	76.2	468	**+7.6**
	プロフェッショナル事業	42	0.5	**42**	0.5	0	**+0.4**
	その他事業	117	1.5	**90**	1.0	△26	**△22.9**
	調整額	△35	-	**△51**	-	△16	**-**
	合計	7,863	-	**8,606**	-	743	**+9.5**
営業利益	ファミリーケア事業	315	49.8	**432**	118.5	116	**+36.9**
	エデュケア事業	357	56.3	**△24**	△6.7	△381	**-**
	プロフェッショナル事業	△37	△5.9	**△46**	△12.6	△8	**-**
	その他事業	△1	△0.2	**3**	0.8	4	**-**
	調整額	△365	-	**△414**	-	△49	**-**
	合計	268	-	**△49**	-	△318	**-**

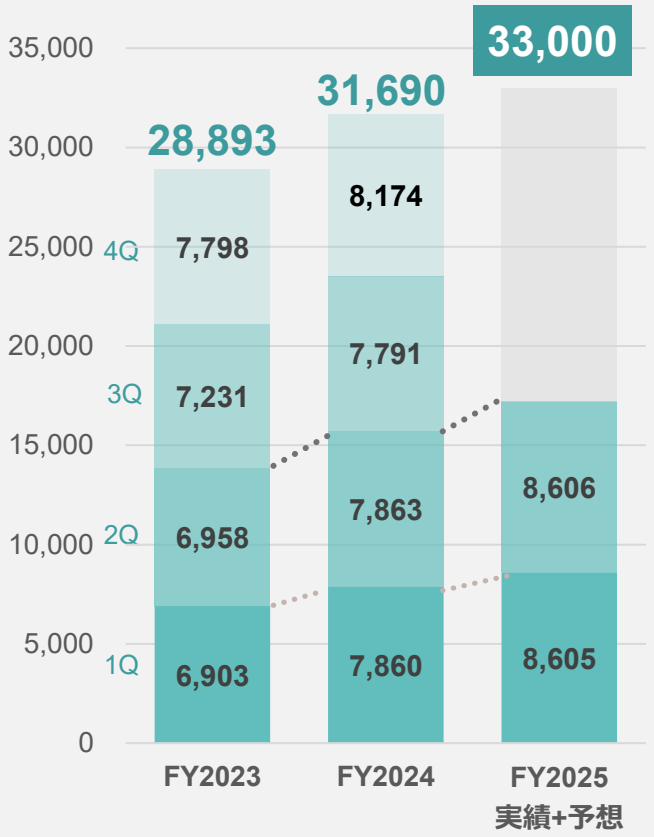
* 公定価格改定1Q影響：公定価格改定による1Q収入増308百万円と、処遇改善の期ずれにより生じたプラス影響額
** 独自改善分：事業利益を財源とする当社独自の人的資本への投資として、公定価格改定による収入増（上期累計）891百万円と、2Q実施の処遇改善988百万円の差額（△97百万円）

業績の進捗状況

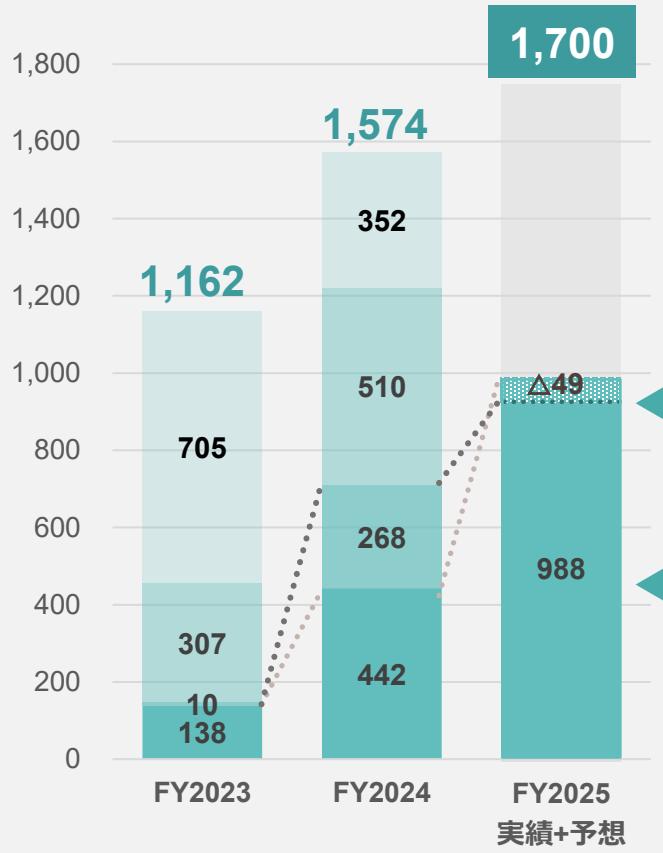
- FY2025業績見通しに変更なし　事業拡大と収益性の改善が進捗
- 公定価格改定･処遇改善：　1Q影響 +308百万円、2Q影響 △405百万円

（単位：百万円）

売上高



営業利益



公定価格改定･処遇改善の影響

2Q：△405百万円
公定価格改定　+582百万円
処遇改善　△988百万円
（独自改善分△97百万円*含む）

1Q：+308百万円
公定価格改定　+308百万円
処遇改善　(未実施)

* 独自改善分：事業利益を財源とする当社独自の人的資本への投資として、公定価格改定による収入増（上期累計）891百万円と、2Q実施の処遇改善988百万円の差額分（△97百万円）

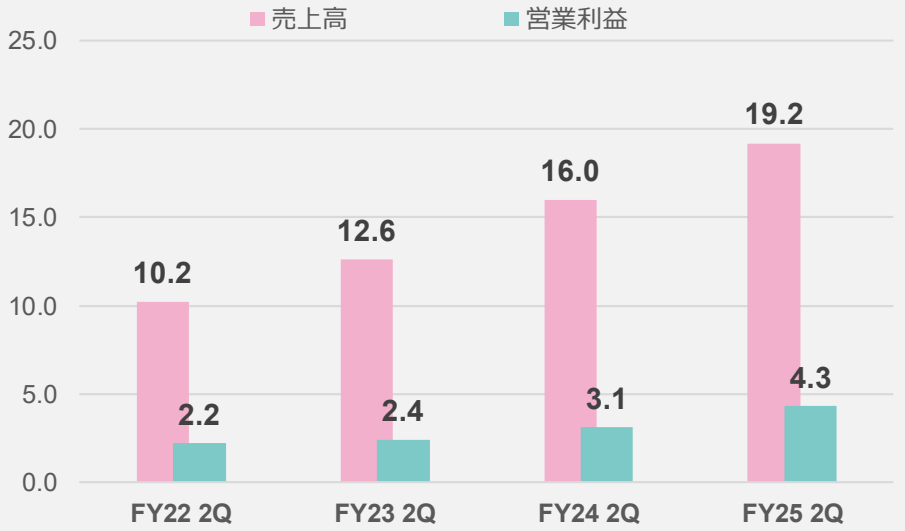
2025年12月期
第2四半期
セグメント別業績推移

業績推移

ファミリーケア事業

- ベビーシッターの採用強化策が引き続き奏功、シルバーケアも好調に推移
- 営業利益率：前年同期比2.8%pt改善
  価格改定を実施（ベビーシッター4月1日～、シルバーケア6月1日～）

（単位：億円）



	FY22 2Q	FY23 2Q	FY24 2Q	FY25 2Q
売上高yoy	+31.6%	+23.6%	+27.1%	**+19.8%**
営業利益yoy	+9.1%	+8.9%	+30.6%	**+36.9%**
営業利益率	21.7%	19.1%	19.6%	**22.4%**

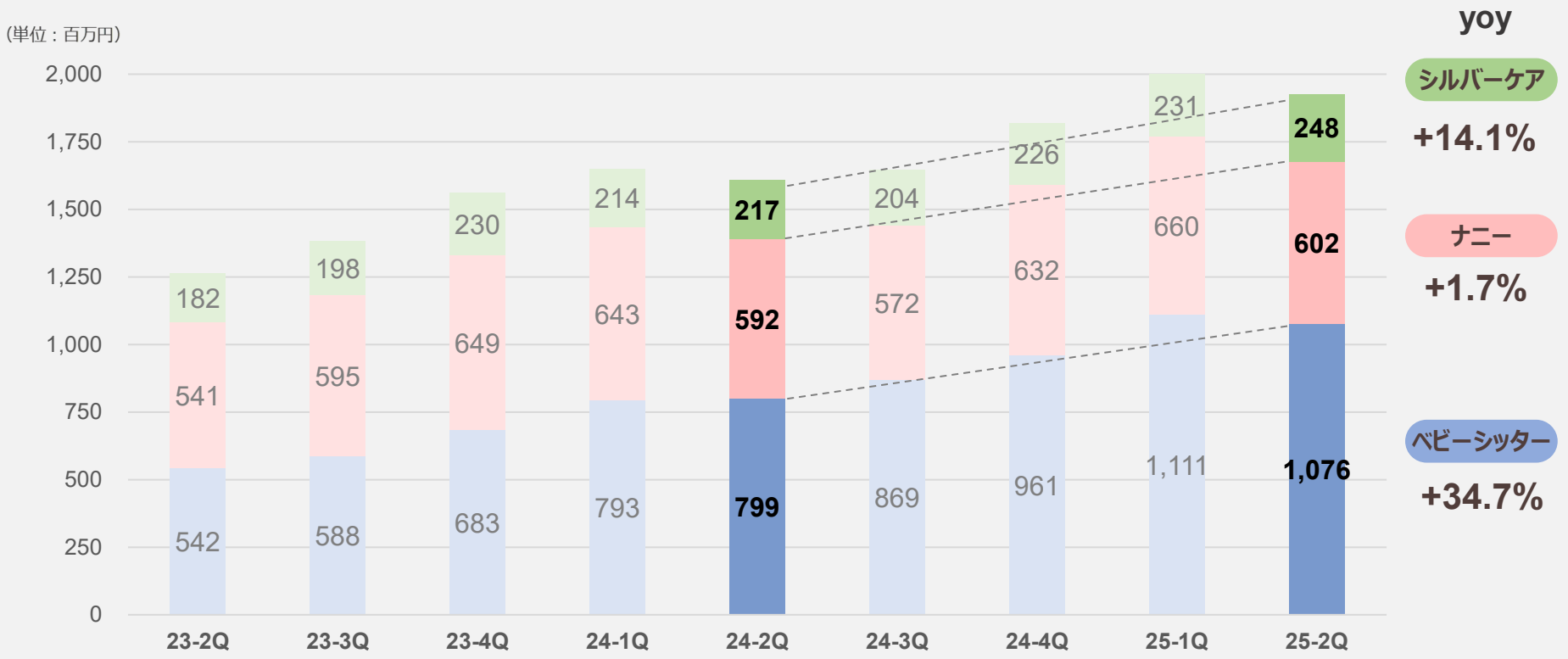
※FY25 1Qから従来ファミリーケア事業に含めていた一部のコンサルテング事業の報告セグメントを変更しており、FY24 1Qより組み替えた数値で表示しています。

内訳別売上高推移

ファミリーケア事業

引き続きベビーシッターサービスがけん引

- ベビーシッター　：オンラインマッチング型で規模No.1　前年同期比 +34.7%
- ナニー　：ナニープレミアムは質でNo.1　堅調に推移
- シルバーケア　：新規会員獲得が奏功　好調に推移



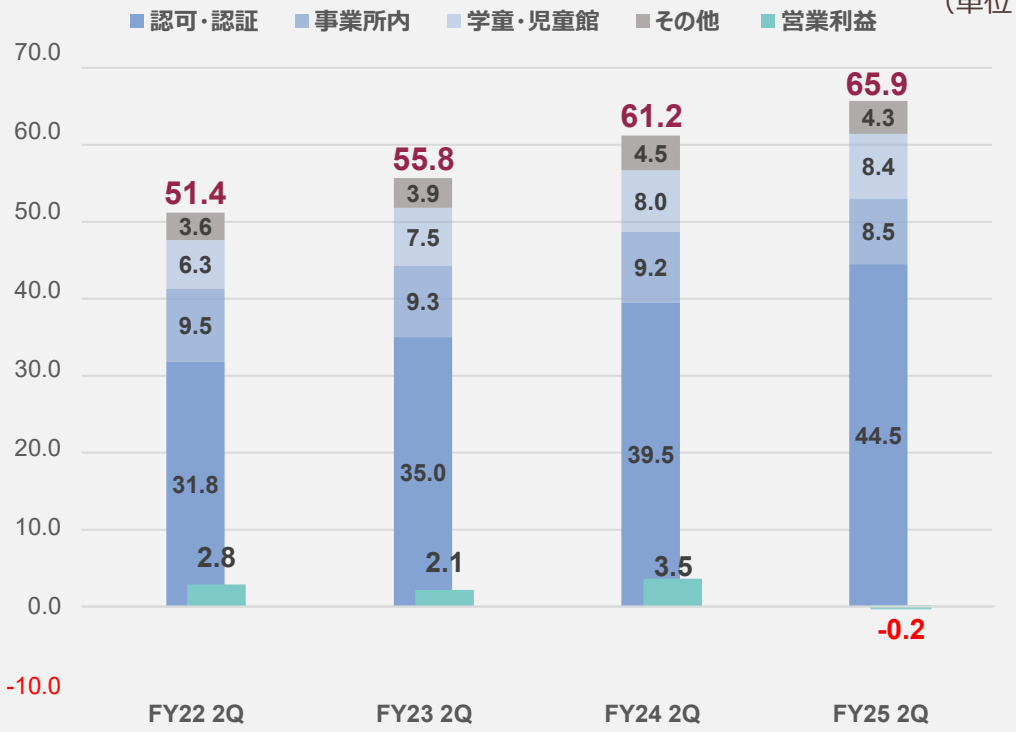
※チャイルドケアサービス（ナニーサービス・ベビーシッターサービス）内訳の動向については、APPENDIX P.22を参照。FY25 1Qより、従来「ファミリーケア事業」に含めていた一部のコンサルテング事業について、「プロフェッショナル事業」へ報告セグメントの変更を行いました。これに伴い、前年（FY24 1Q-4Q）の数値も変更後のセグメント区分に組み替えております。

業績推移

エデュケア事業

- 堅調に推移
- 特殊要因を含む：公定価格改定1Q影響308百万円*の精算
  人的資本への投資（独自改善分**）97百万円

（単位：億円）



	FY22 2Q	FY23 2Q	FY24 2Q	FY25 2Q
売上高yoy	+2.7%	+8.5%	+9.7%	**+7.6%**
営業利益yoy	-	-	+68.6%	-
営業利益率	5.5%	3.8%	5.8%	**△ 0.4%**

* 公定価格改定1Q影響：公定価格改定による1Q収入増308百万円と、処遇改善の期ずれにより生じたプラス影響額
** 独自改善分：事業利益を財源とする当社独自の人的資本への投資として、公定価格改定による収入増（上期累計）891百万円と、2Q実施の処遇改善988百万円の差額（△97百万円）

営業利益前年同期比較

エデュケア事業

2年目施設の利益貢献が進捗
本部機能強化は一巡　中期的なポートフォリオ見直しを推進強化

- 既存　-) 認可認証・学童は堅調　事業所内等は足元改善に注力
- 2年目　+) 前期開園施設が順調に利益貢献

新規開園数

	2023年	2024年	2025年（予定）
直営型	5	5	3*
委託型等	9	6	3
（うち学童・児童館）	(7)	(5)	(3)
合計	14	11	6

閉園数

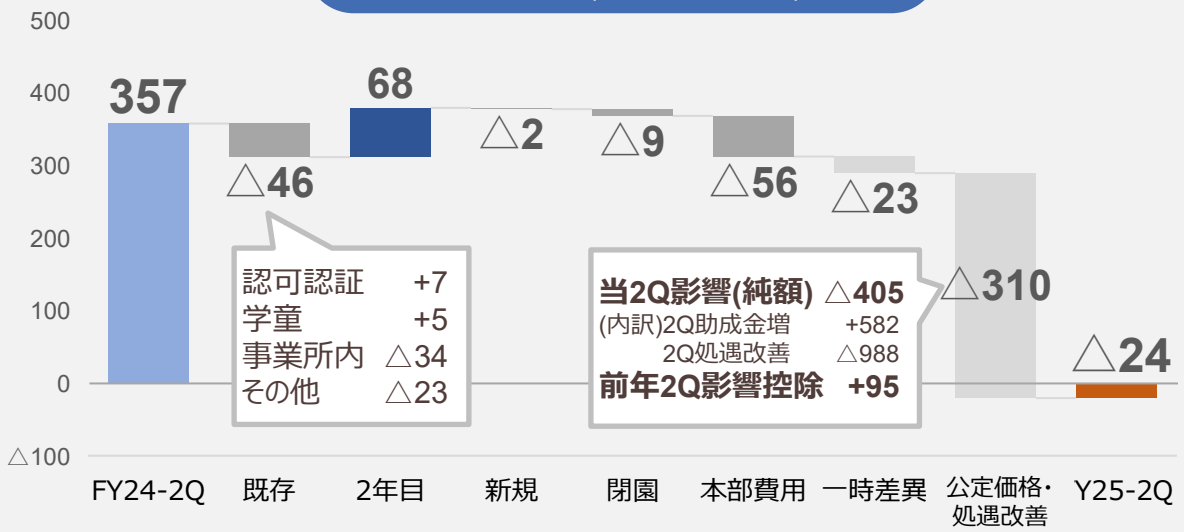
	2023年	2024年	2025年（予定）
直営型	1	4	1
委託型等	8	5	18
（うち学童・児童館）	(2)	(1)	(9)
合計	9	9	19

直営型には、主に認可・認証保育所が含まれます。
受注済である認可保育所の今後の開設ペースは、年間2～3施設。新規案件獲得は、設備投資を伴わない委託型施設（学童・児童館等）に軸足をシフト済み。

* 自治体委託の認可化１含む

四半期営業利益　前年同期比較
FY24-2Q 対 FY25-2Q

（単位：百万円）



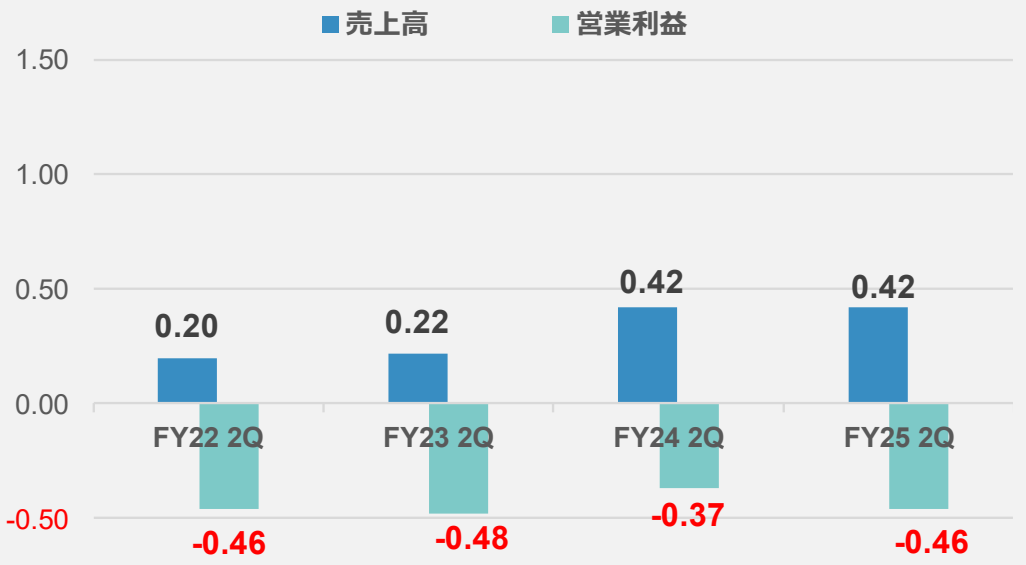
注）一時差異：公定価格改定の一括精算による控除対象外消費税等の一時的増加に伴うマイナス影響（通期で影響解消）
本部費用：事業企画・管理機能およびポピンズプラス等の体制拡充（含む採用費）、本支社処遇改善の影響
新規：設備投資を伴う直営型保育所（認可・認証、その他認可外保育施設）は、初年度は開設コストが発生し、また、4-5歳児が少ないため収益性は低く、園の利益がマイナスとなるケースがあります。
2年目：園児の繰り上がりにより4,5歳児が前年より充足し、利益が確保されます。

業績推移

プロフェッショナル事業

- 堅調に推移（前年同期比並み）
- 下期に向けた受注は順調に進捗

（単位：億円）



	FY22 2Q	FY23 2Q	FY24 2Q	FY25 2Q
売上高yoy	+36.7%	+11.9%	+86.8%	**+0.4%**
営業利益yoy	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-

社会課題に挑む：SIDS（乳幼児突然死症候群）をテクノロジーで防止

午睡センサーを認証保育園 全29施設に導入
見守りのDX：保育者の心のゆとりと「保育の質」向上へ

ポピンズでは・・・

- お昼寝時５分おきにチェック
- 保育者がお子様の状態を目視、触察で確認
- 手書きで保育者間に共有

センサー導入により

- **安全安心の見守り体制がテクノロジーにより強化・ヒューマンエラーを排除**
- **保育者の負担軽減**
  - ・記録業務や情報共有の負担軽減
  - ・情報の属人化解消
  - ・保育者間の午睡チェック基準のばらつき改善

人財投資こそ、保育の未来戦略

提言のポイント

「小１の壁」対策：学童保育人財の確保

- 保育士同様の処遇改善

量と質の拡充：人財の確保と多様化促進

- 付加的サービスを学童でも推進
- 外国人保育人財の活用促進

「保育の未来を創る会」参加企業6社

- ピジョンハーツ株式会社
- 株式会社ベネッセスタイルケア
- 株式会社ポピンズ
- 株式会社学研ココファン・ナーサリー
- コンビウィズ株式会社
- 株式会社小学館集英社プロダクション

飛躍へ ポピンズ第２創業期

創業　ナニー「派遣事業」として開始

世界初「万博」託児サービス

海外教育機関との連携開始
ノーランド / スタンフォード / ハーバード

業界初「ISO9001」認証取得

株式会社の認可保育所参入障壁突破

2トップ体制
轟社長就任

日本初
SDGs-IPO

経営のシフトチェンジ
チーム経営へ

76年ぶり規制改革
配置基準 / 常勤保育士定義

ベビーシッター
二大助成金事業* 研修認定

付加的サービス解禁へ

1987　2018　2020　2024　2025以降

創業期　**移行期**　**新体制**

サクセッションプラン

コーポレートガバナンス強化

働く女性の支援

女性活躍推進

少子化対策

社会インフラと既成概念の変革

創業から38年間

* こども家庭庁ベビーシッター割引券、東京都ベビーシッター利用支援事業

SDGsへの取組み：ソーシャルインパクト

『働く女性の支援』と『社会課題の解決』

SDGsターゲット	経営方針	ポピンズグループの取組み事例	
4 質の高い教育をみんなに	最高水準のエデュケア	SDGs教育	ハーバード大と「子どものためのSDGs」共同研究
		ポピンズプラス	売上総利益 前年比 +20%　付加的サービス解禁へ
		全国保育士等研修	受講者 約122,000人（前年比 +11%）
		認定ベビーシッター	唯一　二大助成金事業で認定　研修外販拡大
5 ジェンダー平等を実現しよう	女性の活躍推進	*社内 女性取締役 / 女性管理職	32.4% / 75.1%
		*社内 男女賃金格差	15.6%（日本平均 21.3%）
		*社内 女性雇用創出	年間 4,000人以上
		不妊予防	チェックシート臨床試験最終段階
8 働きがいも経済成長も	働き方改革 保育士の地位向上	*社内 業務DX化	ナニーサービスマッチング・電話対応等 月間 1,000人時間 削減
		*社内 NEW 社員ファースト	①働きがい②成長③待遇 3本柱で全社プロジェクトを推進
		学習機会創出	保育マネジメント講座 (お茶の水女子大学大学院内) 累計受講者 80人

※全国保育士等研修（支社含む）/　女性取締役（子会社取締役を含む）/　男女賃金格差：正社員　/　女性雇用創出（保育スタッフ採用、ナニー・ベビーシッター・ケアスタッフ 新規登録数 合計）/　ポピンズプラス：有償プログラム　*当社グループ内におけるインパクト

中期経営計画 開示スケジュール

開示日

2025年8月29日（金）15時30分

弊社IRサイトにて開示

機関投資家向け説明会

2025年8月29日（金）16時00分～ 17時00分

別途メールにてご案内

APPENDIX

四半期推移データ

（単位：百万円）

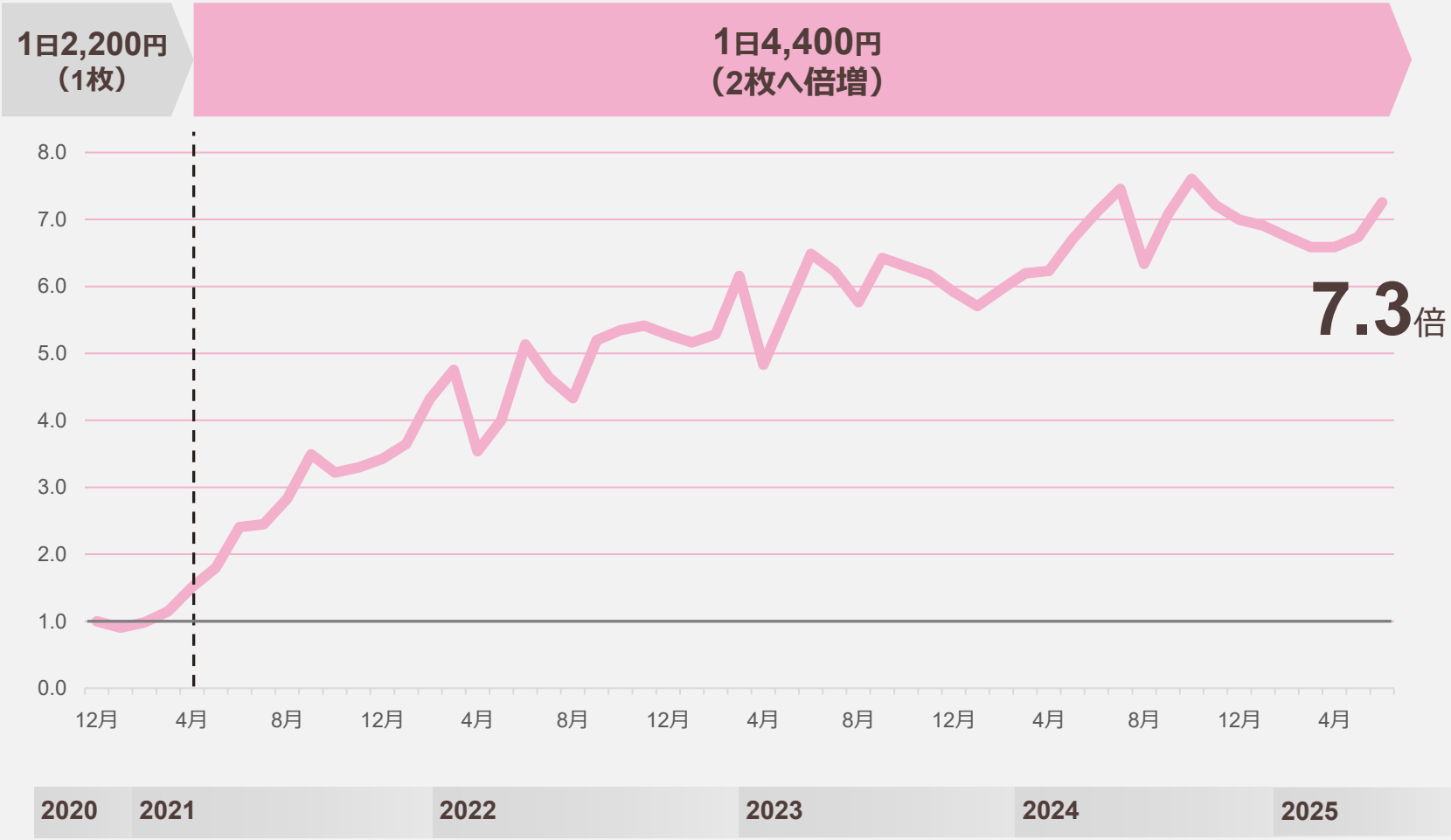
	2023年12月期					2024年12月期					2025年12月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	2Q累計
売上高	6,903	6,958	7,231	7,798	28,893	7,860	7,863	7,791	8,174	31,690	8,605	8,606	17,212
ファミリーケア事業	1,346	1,266	1,382	1,563	5,559	1,651	1,609	1,646	1,821	6,729	2,003	1,927	3,931
エデュケア事業	5,426	5,585	5,575	5,745	22,333	6,036	6,128	5,873	5,966	24,004	6,404	6,596	13,000
プロフェッショナル事業	54	22	186	390	654	72	42	202	311	628	116	42	159
その他事業	115	122	125	120	484	116	117	123	116	474	106	90	197
調整額	△ 39	△ 38	△ 38	△ 21	△ 138	△ 16	△ 35	△ 53	△ 40	△ 146	△ 25	△ 51	△ 76
売上総利益	1,385	1,191	1,483	1,875	5,935	1,733	1,470	1,730	1,648	6,583	2,352	1,347	3,700
率（%）	(20.1)	(17.1)	(20.5)	(24.0)	(20.5)	(22.1)	(18.7)	(22.2)	(20.2)	(20.8)	(27.3)	(15.7)	(21.5)
営業利益	138	10	307	705	1,162	442	268	510	352	1,574	988	△ 49	938
率（%）	(2.0)	(0.1)	(4.3)	(9.1)	(4.0)	(5.6)	(3.4)	(6.5)	(4.3)	(5.0)	(11.5)	(△0.6)	(5.5)
ファミリーケア事業	317	241	304	350	1,214	370	315	326	347	1,360	429	432	862
エデュケア事業	271	211	357	523	1,363	481	357	503	225	1,567	938	△ 24	914
プロフェッショナル事業	△ 38	△ 48	57	218	189	△ 39	△ 37	39	149	112	△ 1	△ 46	△ 47
その他事業	△ 9	△ 1	△ 1	△ 7	△ 20	△ 6	△ 1	6	2	2	△ 2	3	0
調整額	△ 403	△ 394	△ 409	△ 378	△ 1,584	△ 364	△ 365	△ 365	△ 372	△ 1,468	△ 376	△ 414	△ 791
経常利益	138	19	303	839	1,301	436	307	497	353	1,594	976	△ 57	918
率（%）	(2.0)	(0.3)	(4.2)	(10.8)	(4.5)	(5.6)	(3.9)	(6.4)	(4.3)	(5.0)	(11.3)	(△0.7)	(5.3)
純利益	95	0	185	397	677	268	198	83	226	776	632	△ 26	606
率（%）	(1.4)	(△0.0)	(2.6)	(5.1)	(2.3)	(3.4)	(2.5)	(1.1)	(2.8)	(2.5)	(7.4)	(△0.3)	(3.5)
ファミリーケア事業売上高	1,346	1,266	1,382	1,563	5,559	1,651	1,609	1,646	1,821	6,729	2,003	1,927	3,931
ナニー事業	598	541	595	649	2,384	643	592	572	632	2,441	660	602	1,263
（内プレミアム）	196	213	232	254	896	247	247	242	246	984	246	237	484
（内法人契約）	85	95	92	93	366	86	99	87	89	362	81	81	163
（内自治体契約）	205	113	137	185	641	217	143	133	193	688	235	173	408
シッター事業	558	542	588	683	2,372	793	799	869	961	3,424	1,111	1,076	2,188
チャイルドケア合計	1,156	1,084	1,184	1,332	4,757	1,437	1,392	1,442	1,594	5,866	1,772	1,679	3,451
（内主力サービス）※	839	851	913	1,031	3,636	1,126	1,146	1,200	1,297	4,771	1,440	1,396	2,836
シルバーケア	190	182	198	230	802	214	217	204	226	863	231	248	479

※ 主力サービス：ベビーシッター、ナニープレミアム、法人契約

こども家庭庁ベビーシッター割引券 利用推移

ファミリーケア事業

1日あたりの割引券利用可能額



（当社グループ計 / 利用月ベース）

※2020年12月の利用枚数を1とした場合の各月推移

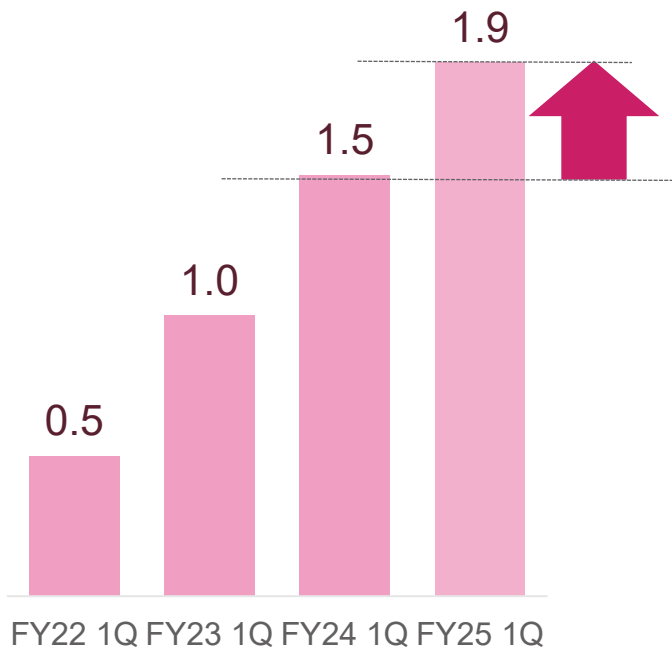
ベビーシッター需要拡大に対する稼働時間増加策

ファミリーケア事業

- 需要拡大に対応するため、既存シッターの稼働促進に加えて新規採用を推進

アクティブユーザー数の推移

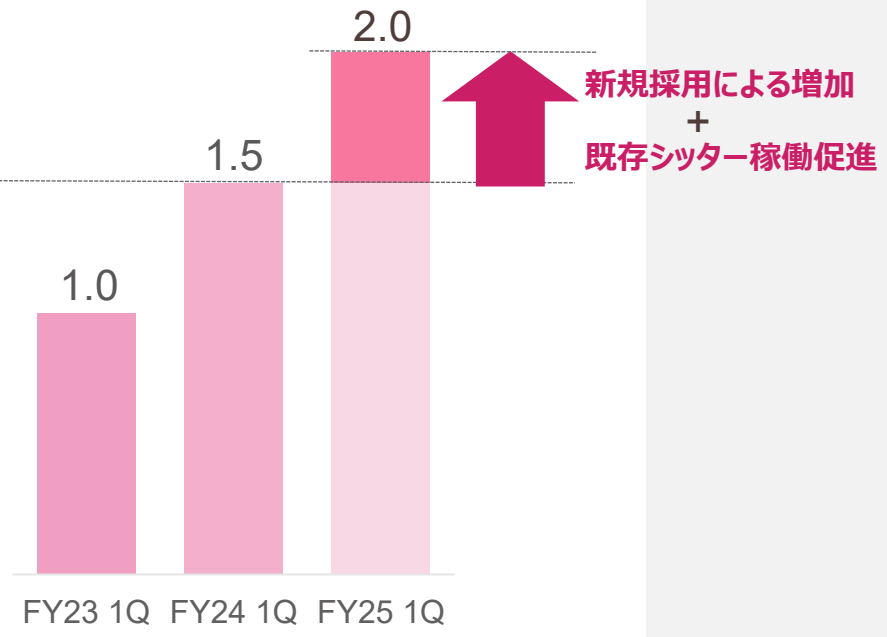
ユーザー数が引き続き急速に伸長*



* FY23 1Qのユーザー数を1とした際の各年のユーザー数を示す指数（概算）

シッター稼働時間

既存シッターの稼働促進に加え
新規シッターの開拓を継続**



** FY23 1Qのシッター稼働数・稼働時間数を1とした際の、FY25 1Qのシッターの稼働増加の内訳を示す指数（概算）

チャイルドケアの成長を支える事業シナジー　登録者の9割以上が認定

自社研修が 2 大助成金の認定対象に

民間で唯一

- 内閣府（現：こども家庭庁）ベビーシッター認定 (2021年8月)
- 「東京都ベビーシッター利用支援事業」指定研修として認定 (2022年9月)

認定ベビーシッターの安定供給

研修外販の加速

規制突破：付加的サービスが解禁

認可保育所において付加的サービスが実施可能に

2024年12月25日公表 「**規制改革推進に関する中間答申**」により方向性が明示

- **全国で原則実施可能とするため、こども家庭庁から自治体へ通知**
- **保護者による選択制、体操等*の幅広いプログラムを認める**
- **保護者と事業者間の直接契約の場合、自治体との協議が不要に**

*体操等：体操、体育、スポーツ、ダンス、音楽、絵画、造形、英語、文字等（以下「体操等」）の付加的サービス

2024年10月11日　こども家庭庁に「保育の未来を創る会」を通じて提言*

内閣府規制改革推進会議*にて
第２回健康・医療・介護ワーキング・グループ

https://www.youtube.com/live/Ebr4hfEB3AE

提言のポイント

- **お子様の個性に寄り添い、選択肢を広げる機会を提供**
- **保護者の仕事と育児の両立支援**
- **格差保育是正へ貢献**

「保育の未来を創る会」参加企業6社

- ピジョンハーツ株式会社
- 株式会社ベネッセスタイルケア
- 株式会社ポピンズ
- 株式会社学研ココファン・ナーサリー
- コンビウィズ株式会社
- 株式会社小学館集英社プロダクション

ポピンズへの影響

高利益率のポピンズプラス拡大へ

2025年4月1日：育児・介護休業法 改正ポイント

育児関連

■ **「子の看護等休暇」の見直し** ※名称も変更

対象年齢拡大：「未就学児」から「小3修了時まで」に

取得理由に「学級閉鎖」「入園式」等を追加

■ **所定外労働の制限（残業免除）の対象拡大**

「3歳未満」から「小学校就学前」に

■ **育児休業取得状況の公表義務の対象拡大**

常時雇用者「1,000人超」から「300人超」の企業に

■ **テレワークの制度活用促進**

短時間勤務制度の代替としてテレワークを認める

3歳未満の子の育児に対して企業に導入努力義務

介護関連

■ **両立支援措置の具体的義務化**

仕事との両立支援のため、企業に対して

以下いずれかの措置を義務付け：

①研修の実施

②相談窓口の設置

③制度利用事例の提供

④制度促進方針の周知

■ **個別周知・意向確認の義務化**

労働者が介護に直面した場合、制度の周知

と利用意向の確認を企業に義務付け

育児・介護共通

■ **雇用期間にかかわらない休暇取得の容認**

「子の看護等休暇」「介護休暇」について、雇用期間6か月未満の労働者も取得可能に

■ **両立支援環境の整備の推進（努力義務）**

テレワーク活用、柔軟勤務、相談体制整備、制度活用の事例紹介などを、企業に求める

出典：厚生労働省 都道府県労働局雇用環境・均等部（室）

待機児童から待機学童の時代へ　大阪エリア拡充中

ポピンズ初の取組み：付加的サービスの開始

保護者ニーズの高い英語をメインとした「GLOBALプログラム」を展開

大阪府豊中市

公立小学校放課後こどもクラブ

3 校にて実施予定

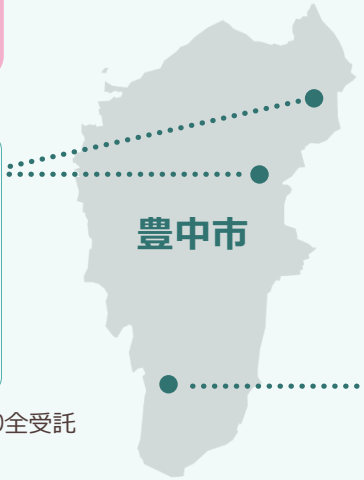
新田小学校
東泉丘小学校

開設：2024年10月～*

公立小学校放課後こどもクラブ

2025年9月にトライアル実施、10月以降、定期プログラムとして本導入予定

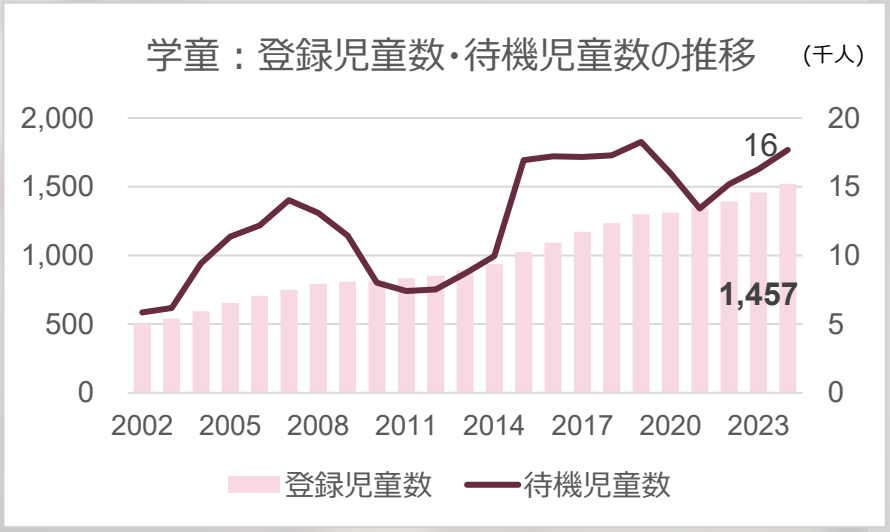
*2024年10月から移行・引継ぎ期間、2025年4月より全受託



庄内さくら学園　開設：2023年4月～

小中一貫校放課後こどもクラブ

2025年5月より定期プログラムとして本導入



保育園の待機児童は解消されつつあるが、

学童保育の待機は10年で 2 倍

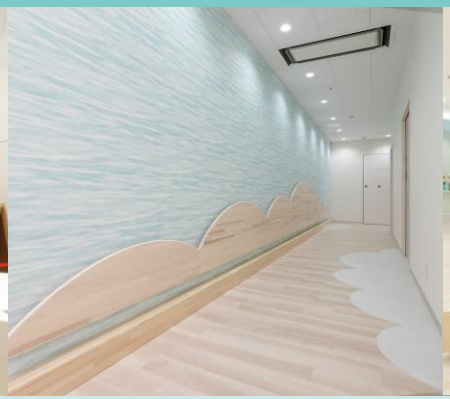
高学年のニーズが増加

出所：厚生労働省_令和5年（2023年）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2023年12月）

2025年 1-6月　新規開設 6施設

エデュケア事業

認可保育所（2施設）



ポピンズナーサリースクールそら 高輪ゲートウェイ駅前

※詳細は、P.33参照。

ポピンズナーサリースクール 神崎川

学童・児童館（3施設）

- 豊明市中央小学校放課後こども教室
- 中央区プレディプラス中央小
- 都内私立小学校内学童

自治体委託の認可化（1施設）

- 市が洞保育園

2025年 開設・閉園

認可保育所

88
施設*

認証保育所

29
施設

事業所内保育所

69
施設

学童・児童館

94
施設

その他

45
施設

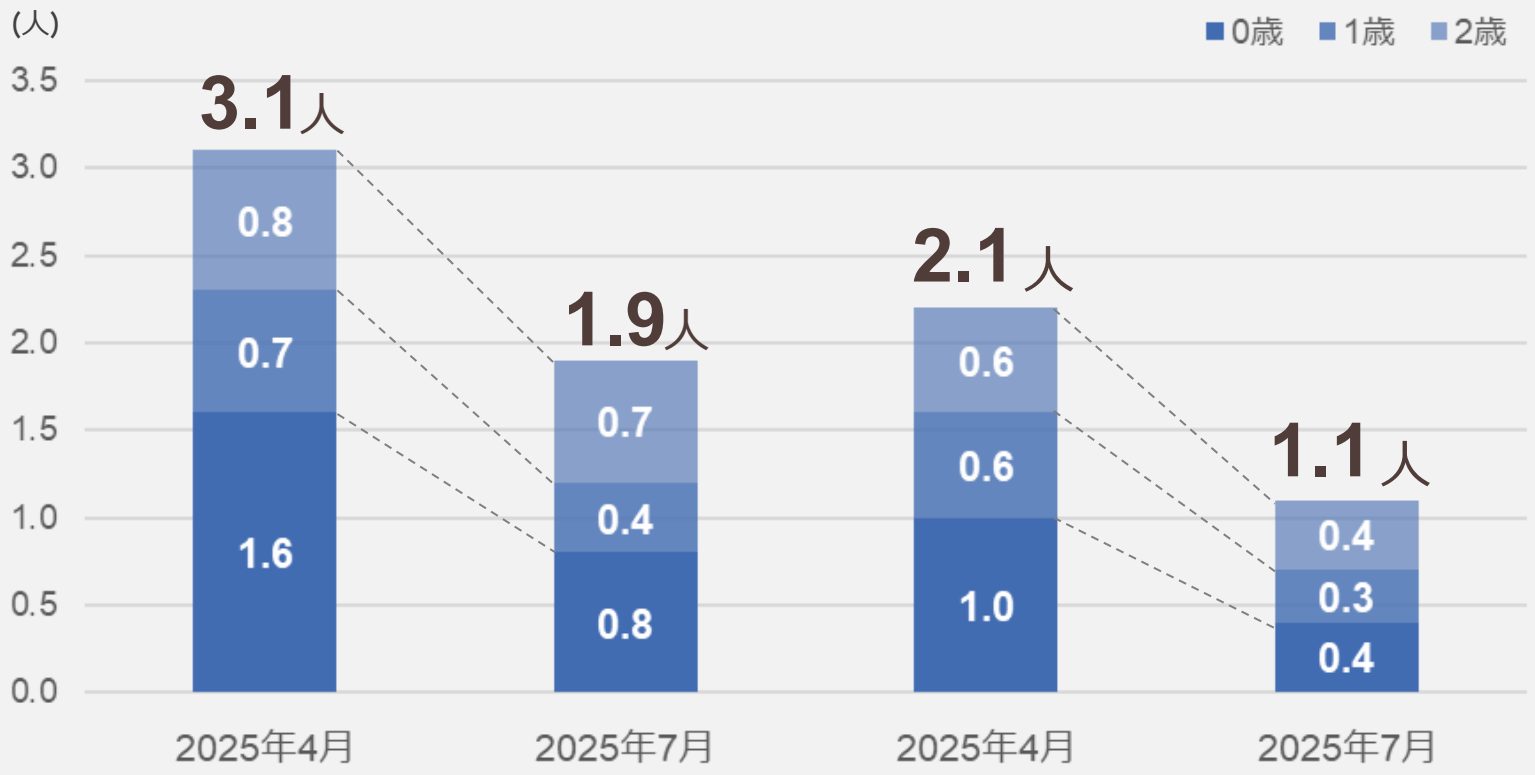
* 表中の認可保育所には、小規模認可・認定こども園を含みます。

形態別施設数推移

	2021年12月末	2022年12月末	2023年12月末	2024年12月末	**2025年8月8日時点**
認可保育所	62	67	71	76	**79**
小規模認可保育所	7	7	7	7	**7**
認定こども園	1	1	2	2	**2**
認証保育所	36	35	34	30	**29**
事業所内保育所	86	84	79	75	**69**
（うち企業主導型）	46	43	40	39	**37**
学童・児童館	87	91	96	100	**94**
ALS/PALIS等	3	4	4	4	**4**
交流館	4	4	5	5	**4**
その他	41	38	38	39	**37**
合計	327	331	336	338	**325**

東京都 23区　認可保育園（0-2歳*）空き状況

エデュケア事業



東京都（23区平均）

ポピンズ（23区平均）

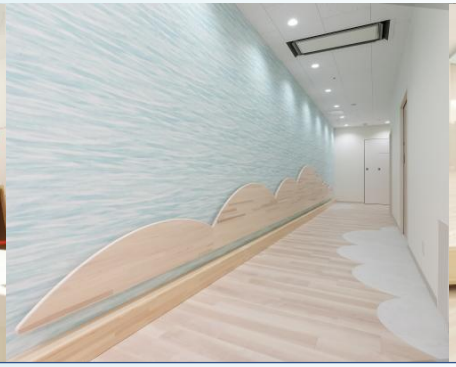
出所：各自治体開示データより、当社独自集計
* 園児1人あたりの保育単価が高い0-2歳児の空き状況

2年連続開園：TAKANAWA GATEWAY

「TAKANAWA GATEWAY CITY」内に認可保育園が2年連続開園
江戸の玄関口として交流の結節点だった、高輪の歴史を引き継ぎ、未来へつなげる園に。

2025年4月　ポピンズナーサリースクールそら 高輪ゲートウェイ駅前

空 をイメージした開放的な空間



- 60名定員*
- 約500平方メートル
- テーマは「未来を象徴」
- のびのびと過ごせるピアッツァや、キッチン隣接のランチホールでは食育もできる広々空間

NEW 2026年4月　(仮称)ポピンズナーサリースクール 高輪ゲートウェイII

海 をイメージした穏やかな空間

- 60名定員*
- 約600平方メートル
- テーマは「場所の記憶」
- 広々としたピアッツァ、制作や絵画ができるアトリエスペース等

*いずれの施設も初年度は利用定員27名

HARUMI FLAG 2園　2025年4月入園状況

2024年4月開園　HARUMI FLAG

子ども・地域・街がともに育ち・輝く　新時代のナーサリースクール

満員御礼*

ポピンズナーサリースクール HARUMI FLAG PORT VILLLAGE **184名**

ポピンズナーサリースクール ららテラス HARUMI FLAG **143名**

ららテラス HARUMI FLAG

HARUMI FLAG PORT VILLLAGE

ららテラス HARUMI FLAG

※定員（2025年4月～）：ポピンズナーサリースクール HARUMI FLAG PORT VILLLAGE　利用定員 184名（認可定員** 204名）
ポピンズナーサリースクール ららテラス HARUMI FLAG 利用定員 143名（認可定員** 153名）

* ポピンズナーサリースクール HARUMI FLAG PORT VILLLAGEは2025年6月より、ポピンズナーサリースクール ららテラス HARUMI FLAGは2025年4月より満員となっております。

** 「認可定員」とは、都道府県（東京都）が認可する一施設あたりの定員。それを元に基礎自治体（中央区）が、年度毎に増加する「利用定員」を定める。

TOPICS：PALIS「ケンブリッジ幼児教育認定校」へ

NEW

ポピンズアクティブラーニング インターナショナルスクール（PALIS）が「ケンブリッジ幼児教育認定校」に

2025年7月中旬～

3歳以上のお子様を対象にしたカリキュラム「Cambridge Early Years」を順次提供。
人格的・社会的・情緒的発達を目的にした6つのカリキュラムから構成。

PALISとケンブリッジ国際教育課程の共通点

「遊びをベースにしたお子様中心の主体的な学び」という教育哲学

専門の研修を受けたネイティブスピーカーおよびの外国人講師陣・保育士と共に、
世界に羽ばたくお子様たちの学びをさらにサポート。

CAMBRIDGE
International Education

Cambridge Early Years Centre

Poppins
ACTIVE LEARNING
INTERNATIONAL SCHOOL

FY2025 施策・方針

ファミリーケア事業

	外部環境	ポピンズの施策・方針
ナニーサービス 質でNo.1	**国・都政が後押しとなり市場拡大** **東京都ベビーシッター利用支援事業(一時預かり)の拡大** ・導入自治体がさらに増加　5市・19区・2村へ ・利用理由問わず ・最大36万円(2,500円/h×144h/年)まで補助 **人財の不足と獲得競争の激化**	**プレミアムサービスとしての位置づけ強化とナニー待遇改善、体制構築** **品質への評価と根強いニーズに基づく顧客単価の向上**
ベビーシッターサービス 規模でNo.1		**マーケットリーダーとして事業拡大基調採用・研修拠点増設による促進** **規模拡大に伴うリスク管理の強化需要を踏まえた顧客単価の向上**
シルバーケアサービス	**医療から介護へ、施設から在宅へ** **団塊の世代が75歳以上へ** **アクティブシニアの増加** **ビジネスケアラー・ダブルケアラーの増加**	**営業管理の改善による新規会員獲得の復調傾向を継続** **品質管理を通じた顧客単価向上待遇改善による働き手確保**

FY2025 施策・方針

エデュケア事業

	外部環境	ポピンズの施策・方針
認可・認証・事業所内	少子化進行、待機児童解消 ４月一斉入園の慣行変化 人財需給のひっ迫 働きやすさ重視の売り手市場	通年での園児募集マーケティングの強化 助成金拡大も追い風とした新人事制度の導入 新制度に基づいた採用促進と退職抑制
学童・児童館	待機学童増加のトレンド継続 質の向上ニーズの高まり （幼保小接続期の重要性UP）	地域ごとの収益性に基づいた選択と集中 既存施設のポートフォリオ管理の推進 継続的な処遇改善・新人事制度の導入 政策の実現（働き手支援、付加的保育）
高利益率のポピンズプラス拡大	付加的サービス提供に対する ニーズの高まり、理解の向上 類似サービスとの競合	認可保育所　付加的サービスが公に解禁 学童　先進自治体における付加的 サービスの開始

FY2025 施策・方針

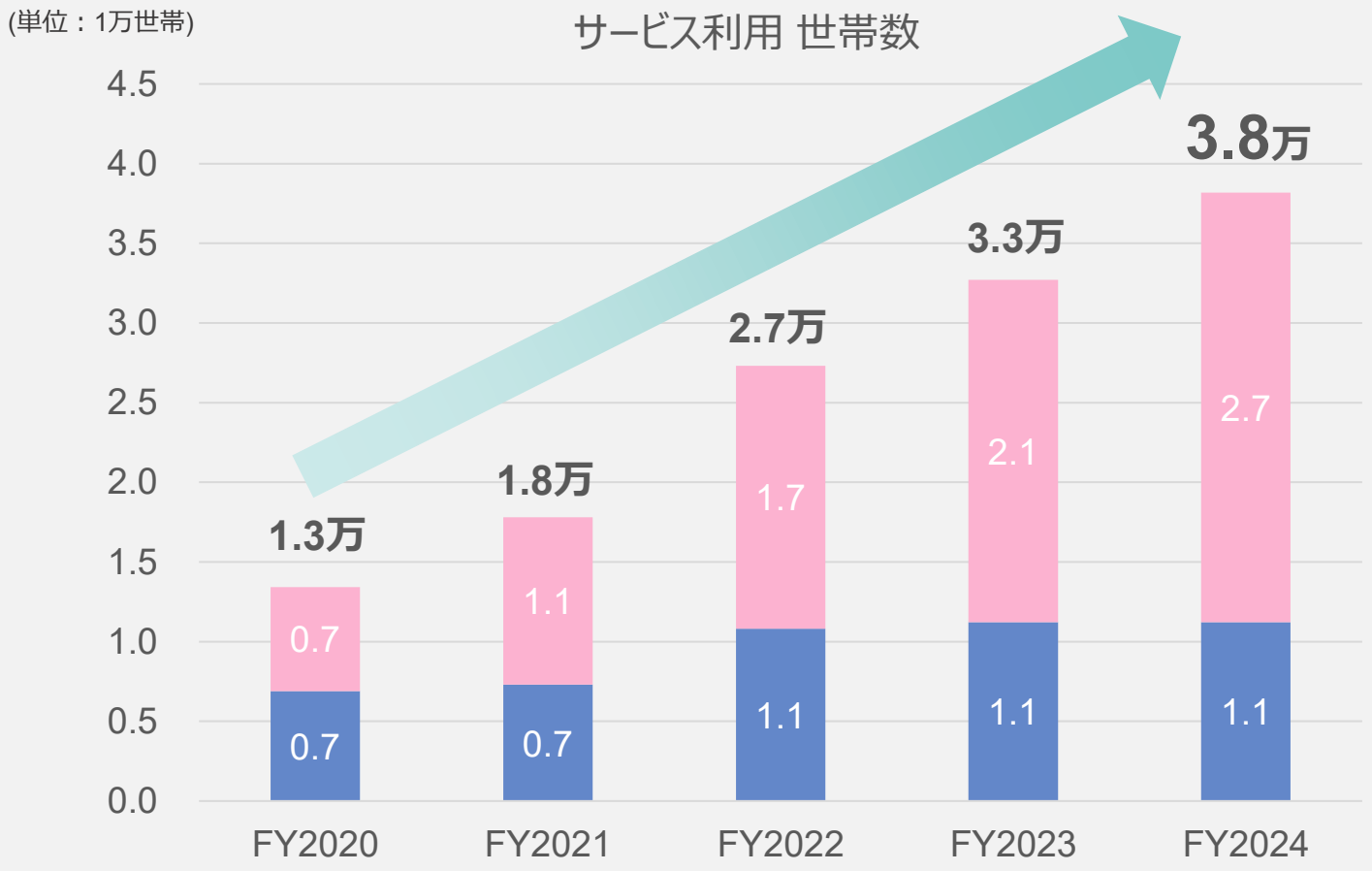
プロフェッショナル事業

	外部環境	ポピンズの施策・方針
国・自治体	**保育の質にフォーカスした研修ニーズの高まり** **研修ニーズの多様化** ・コロナ禍以降、ハイブリッド化・オンライン化に対応	**自治体研修の受注競争力強化** **保育現場の課題解決に寄り添う研修** **学童研修へも本格参入**
民間	**共働き世帯の増加** **ビジネスケアラー・ダブルケアラー増加** ・離職回避への手立てを模索	**育児コンサルティング*の推進強化** **その他企業ニーズを踏まえた事業拡大を企図**

* 育児コンサルティングとは、顧客企業の社員に対して、経験豊富なコンサルタントによる、ポピンズのノウハウを活かした、子育てに関する相談対応・お困りごとの解決・最新情報の提供、カウンセリング等を行うサービス。

当社サービス利用 家庭数

2024年度は 3.8万世帯にサービスを提供



ファミリーケア事業

yoy +25.4%

エデュケア事業

yoy +0.1%

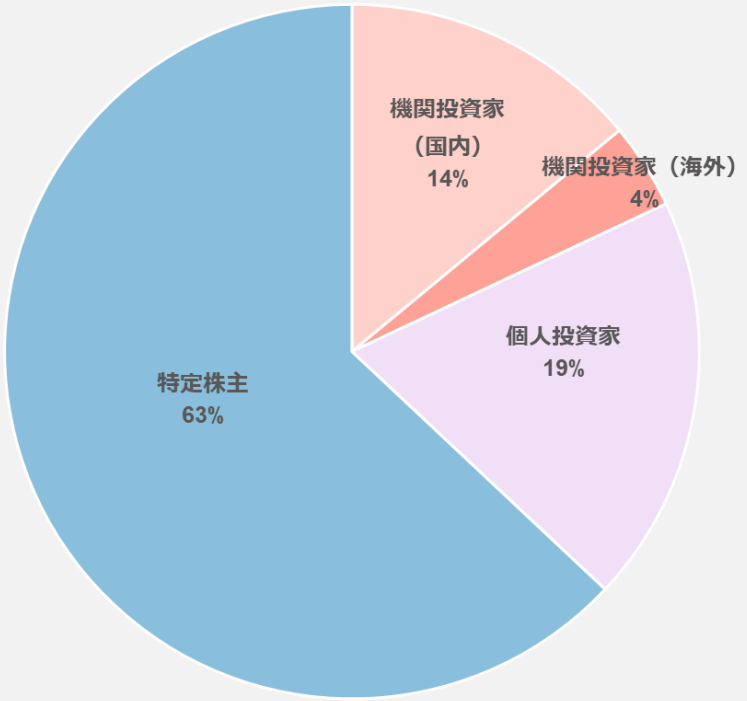
※保育所、学童、ナニーサービス、ベビーシッターサービス、シルバーケアサービスを年間1回以上利用した家庭数の総計（サービス間の重複あり）

株主構成　2024年12月31日時点

株式の状況

発行済み株式総数	10,177,300株
株主数	3,891名

株主所有者別状況



※当社保有の自己株式を除いております
　株式会社スピネカは、当社社長 轟およびその親族の資産管理会社です

大株主の状況

株主名	所有株式数（千株）
株式会社スピネカ	3,960
轟　麻衣子	1,320
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	651
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	602
清板　大亮	331
みずほ信託銀行株式会社 有価証券管理信託(07300 64号)	225
みずほ信託銀行株式会社 有価証券管理信託(07300 65号)	225
中村　紀子	220
CACEIS BANK, LUXEM BOURG BRANCH / UCI TS - FULL TAX	113
猪俣　崇	70

注意事項

本資料は、業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではございません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の売上高および利益は、様々な要因により記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

当社は、業績予想の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。
ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

株式会社ポピンズ

（IR連絡先）
TEL： **03-6625-2753**
e-mail： **ir@poppins.co.jp**

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5丁目6番6号
https://www.poppins.co.jp/hldgs/ir/

Poppins